

製品名: TGIF ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18861**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--------------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | 43kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | TGIF1 |
| 別名 | TGIF1; TGIF; Homeobox protein TGIF1; 5'-TG-3'-interacting factor 1 |
| 遺伝子 ID | 7050.0 |
| SwissProt ID | Q15583 |
| 免疫原 | ヒト TGIF の C 末端領域から得られた合成ペプチド。 |

背景

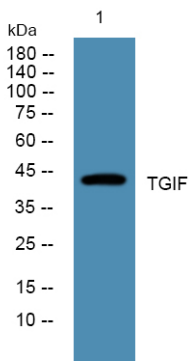
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、非定型ホメオドメインの 3 アミノ酸ループ伸長 (TALE) スーパークラスのメンバーです。TALE ホメオボックスタンパク質は高度に保存された転写制御因子です。この特定のホメオドメインは、細胞レチノール結合タ

ンパク質IIプロモーター由来の、以前に特徴付けられたレチノイドX受容体応答配列に結合します。このタンパク質は、レチノイン酸応答配列の9-シス-レチノイン酸依存性 RXR α 転写活性化を阻害する役割に加えて、SMAD2の活性転写コリプレッサーであり、発生過程および成体における核シグナル伝達に関与している可能性があります。この遺伝子の変異は、脳の構造異常である全前脳症4型と関連しています。この遺伝子座では選択的スプライシングが観察されており、異なるアイソフォームをコードする複数のスプライスバリエーションが記載されています。[提供疾患: TGIF1の欠陥は、全前脳症4型 (HPE4) [MIM:142946]の原因です。全前脳症 (HPE) [MIM:236100]は、発達中の前脳が右半球と左半球に正しく分離できない脳の最も一般的な構造異常です。全前脳症は遺伝的に異質であり、いくつかの異なる顔貌と表現型の多様性に関連しています。機能: 細胞性レチノール結合タンパク質IIプロモーター (CRBP-II-RXRE) からのレチノイドX受容体 (RXR) 応答性エレメントに結合します。レチノイン酸応答性エレメントの9-シス-レチノイン酸依存性 RXR α 転写活性化を阻害します。SMAD2の活性転写コリプレッサーです。ノードシグナル伝達経路を前脳に分岐および腹側正中構造の確立に結び付けます。RXR α 活性のダウンモジュレーションによって示されるように、発達中および成体における核シグナル伝達に関与する可能性がある。類似性: TALE/TGIF ホメオボックスファミリーに属します。類似性: 1つのホメオボックス DNA 結合ドメインを含みます。サブユニット: CTBP、SMAD2、SMAD3、およびHDAC1と相互作用します。、

研究分野

神経科学、神経プロセス、神経シグナル伝達、エピジェネティクスと核シグナル伝達、核シグナル伝達経路、核受容体、コアクチベーター/コリプレッサー、レチノイン酸およびレチノイド、幹細胞、胚性幹細胞、細胞内、SMAD、神経幹細胞、転写、転写因子、発生生物学、胚発生、胚性幹細胞、表面分子

画像データ



KB細胞溶解液のウェスタンブロット分析、TGIFウサギポリクローナル抗体を1:1000に希釈し、4°で一晩